

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」塩尻校		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 10日		～ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 10月 10日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な経験を活かした支援やイベント開催 (資格・社会経験)	小集団の活動として、就園や就学に向けた体験プログラムを実施している。就園に向けては主に心理学卒の職員がプログラムを構成し、専門的な知識を取り入れた活動となっている。就学に向けては教育現場経験者が集まって学校体験と称し、少しでもスムーズに就学に繋がるようなプログラム構成のもと開催している。どちらも月に1回以上の実施をしている。	就園や就学といったライフステージの変化は、お子様よりも保護者様やご家族様からの不安の声が多く聞かれているため、実際の体験を通してイメージを膨らませていただく機会となっている。好評に感じてくださる声も聞いているため、月1回以上の実施の継続と、就学に関しては対象者を年長に絞るのではなく、幅広く年中や年少のお子様にも体験していただける機会の提供を行う。
2	チームワーク	毎週児発管発信のミーティングと支援の情報共有のすり合わせを実施している。机の配置を工夫し、顔を合わせて意見が交わしやすい雰囲気作りを努めている。コンスタントに情報共有や意見交換を行うことができ、共通認識を持つことができ、統一した支援の提供を行うことができている。朝礼時に個々の予定を伝え、全体で予定の把握を行うことによりサポートし合う体制が築けている。欠席等支援数にかかわる情報の共有もPC上と口頭で行うことで、追加振替の打診をスムーズに行うことができている。	働きやすい、意見を交わしやすい、環境作りや関係作りを向上させるために、ミーティング時等を活用し、意見交換を重ねていく。チーム連携を強化するための事業所内研修を検討していく。
3	組織の一員としての意識 サービス向上への意識	朝礼時に会社の基本理念、ビジョン、価値観を全員で唱和してから業務を開始している。また月に1回施設地域における障害者虐待防止チェックリストの中の職員セルフチェックリストを実施し、自身を振り返る機会を設けている。目指すところの方向性や支援に向かう姿勢を揃えるきっかけとなっている。	朝礼時の唱和は、業務開始のスイッチとなっているため、今後も継続する。職員セルフチェックリストについても、月1回の振り返りと虐待防止に繋がるツールであるため、継続する。会社発信の情報は全員確認を欠かさず、校舎で取り入れられる活動は前向きに検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的知識の習得	現在、福祉現場経験者や教育現場経験者、保育士や心理学部を卒業した職員が在職中であり、様々な知識を持ち寄ったチーム形成であるために、児童福祉、療育への専門的知識はより向上していきたい個所である。各々の強みを活かしつつ、サービス提供の根本となる知識を伸ばし、サービスの幅を広げたり、柔軟に家族支援に対応できる力をつけていく必要がある。	各々の知識の習得とは別に、事業所内での勉強会の開催により知識を伝達共有し合う機会を設けたり、内部外部の勉強会や研修会への積極的な参加を行う。外部の研修会への参加は多くはないので、大切にしながら、知識の習得、向上に向けて積極的な考案を行う。
2	社会人マナー 職員間のフォロー体制	新卒入社の職員もいれば、中途入社の職員もおり、経験も様々である。各職員の長所を活かしながら、新卒者のみならず全職員へ更なるフォロー体制の継続を図る。サービス提供であることから、こどもはもちろんのこと、保護者や関係機関者との円滑な関係を築くためにも丁寧なアプローチ方法を身につける必要がある。	得意不得意に合わせながら、事前に配慮が行えることに関しては共有を行う。電話対応に関してはマニュアルの活用を行ったり、ロールプレイングを実施する等の工夫を行う。
3	環境設定・整備	教室環境については、今後もこどもたちに合わせて活用していく。ワンフロアの環境であるため、活動場所の確保や音の配慮が必要になる。こどもの組み合わせにも配慮が必要である。	環境整備に力を入れつつ、活動場所の設定は都度協議しながら調整していく。振替追加時には活動場所の確保や相性を考慮する。備品整理の時間を設け、支援スペースの確保に努める。

事業所名	こどもサポート教室「きらり」塩尻校
------	-------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

18

回収数

18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	4	2	0	・机に座ってのワークはいいと思うが、体を動かすのはもう少しスペースがほしい。 ・小集団に参加した時に狭く感じた。	・今後も教室環境の工夫に努めてまいります。時間の変更による対応も可能ですので、ご希望があればお申し付けくださいませ。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	1		・今後も支援数よっての調整を行ってまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	4	1	1	・子供たちが楽しく参加できるよう工夫されているが、情報量が多く感じる。	・現在スロープや手すり等の設置はございませんが、段差を少なくして配慮しております。様々な情報発信を行いたいがために、情報量が多くなってしまいました。情報発信の方法を検討してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	3	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	2	0	0	・スタッフによっては知識に差があるように感じたことがある。	・ご意見ありがとうございます。知識の差については、研修会や勉強会への参加を通じて、習得してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1	0	2		・今後も誠実に丁寧な支援を継続してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	2	0	0	・爪を噛むのでこの絵本にしましたと言われたが、うちの子ではないのでびっくりした。	・申し訳ございませんでした。サービス提供への意識の改善と、情報共有に努めてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	0	2		・今後も誠実に丁寧な支援を継続してまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	1		・今後も楽しいイベントを企画してまいりますので、是非ご参加ください。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	3	8	・基本的に個別療育のため、他施設との交流はないと思うが、小集団は参加している。	・ご意見ありがとうございます。主に個別支援を提供させていただく事業所ではありますが、ご希望がございましたら、他機関と連携を図りながら対応してまいります。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0			
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	1		・今後も丁寧な説明に努めてまいります。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	1	9	・ペアレントトレーニングについて教えてほしい。 ・家庭での子どもへの対応方法等の情報共有があるとより良いかもしれない。	・ご意見ありがとうございます。随時家族支援の対応に応じております。	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1	0	1		・至らない点がありましたら、申し訳ございません。丁寧な情報提供と共有に努めてまいります。	
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	1		・ご意見ありがとうございます。随時相談の機会が設定可能でございます。ご希望の際はお声がけください。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0	・共感してもらえていると感じるが、子どもの現時点での課題が解決されているのかは分からない。	・ご意見ありがとうございます。今後もお子様や保護者様に寄り添ったサービスの提供に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	4	10	・コロナ禍より利用開始したため、自身に保護者会等の機会がなかった。 ・フルタイム勤務で保護者交流会の参加機会はあまりなかったが、今後そういった交流機会が増えていくと聞いている。	・ご希望の際に、保護者様同士の連携が取れるように相談の場を設けております。保護者会の開催を準備中です。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	0	2		・相談支援についてのチラシを掲示しております。日程調整を行い、随時対応可能となっております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1	0	0		・直接の他にも、電話やメールといった電子機器を使用したりやりとりが可能となっております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	2	0	1		・ご意見ありがとうございます。きりりたよりを半年に1回以上発行しております。またブログやSNSでの発信も行っております。今後目に留めていただきやすいように情報発信方法の工夫を行ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0		・個人情報に記載された書類は鍵付き書庫に保管しております。また個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど、適切な対応を行っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	5		・今後も、年度始めに、防災訓練計画を立て実施してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	6		・毎月様々な災害を想定した防災訓練を実施しております。年に2回はお子様にも参加していただく訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	3		・安全計画のもと、教室運営をしております。また安全点検についても毎日実施をし、安心安全にご利用いただけるように配慮しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1	0	3		・事故発生時には、速やかに対応するために、事業所内で確認を行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	0	・午睡後の利用だが、子どもも毎回機嫌良く楽しみに通っている。	・ご意見ありがとうございます。「楽しい」と思っておりご利用いただき、嬉しく思います。今後もリラックスしてご利用いただけるように、サービスの提供に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	2	0	0	・基本的に職員の皆が親身になって一生懸命やってくれて満足している。	・ご意見ありがとうございます。サービス提供の向上を行いながら、満足してご利用いただけるように、努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」塩尻校		公表日		2025年 2月 15日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・活動場所の設定や、パーティションを使って配慮している。	・ワンフロアの中パーティションのみでの区切りのため、他児の声や周囲の音が気になってしまう利用者もいる。支援時間中は周囲に配慮を配るようにし、場合によっては支援時間をずらす等の対応を行う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	・職員の配置数によって受け入れられるこどもの人数を調整している。	・今後も、安心・安全な環境確保の為に、職員の適正配置を継続する。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	・パーティションで区切り、集中ができる環境作りに努めている。	・ワンフロアであるため、今後もパーティションで区切る等し、刺激への配慮をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・毎日清掃担当を決め、環境整備を行っている。 ・支援後は手の空いた職員で片付けと消毒を行い、次の支援の受け入れを行うようにしている。	・使用した玩具・教材の消毒に加え、お子様の手が触れやすいところも消毒を行い清潔で心地よい空間にしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・特性を配慮し、対応している。利用者からの要望も受け入れている。	・今後も特性に配慮した対応をしていく。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・週に1回、利用者の様子について共有する機会と、管理者から業務や運営に関して発信するミーティングの機会を設けている。	・ミーティング当日に公休の職員はPC上での共有になってしまうこともある。可能な限り顔を合わせて共有を行う機会を設定していく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・年に1回アンケートを実施し業務改善に繋げるとともに、日々頂いた意向等は改善に取り組んでいる。	・中途入社や異動職員に対しては、個別に共有を行う。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・週に1回、管理者から業務や運営に関して発信するミーティングの機会を設けている。 ・月に1回、セルフチェックシートを用いたアンケートを実施し、意見を把握している。	・職員全員が顔を合わせて意見交換や共有を行う機会を設けることや、定期的に個人面談を設定していくことで、風通しの良い職場環境と安定的な業務運営に繋げていく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	・第三者による外部評価は実施していない。	・第三者による外部評価が実施された場合には、業務改善に繋げる。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・月に1回、研修会や事例検討会等に参加している。	・今後も全ての職員が継続的に研修参加していただけるよう努める。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・法人で作成したアセスメントシートを使用して分析を行っている。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・日々の支援の様子や支援者会議での検討内容等を共有し、会議を開催した上で検討を繰り返して行っている。	・職員全員がサービス提供と計画作成の流れを理解し、知識を得て、サービス提供を実施する。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・計画作成後は必ず会議を開催し、共有を行った上で、支援に繋げている。	・利用者の様子や成長に合わせた期限内の計画の変更も柔軟に対応していく。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・週に1回、利用者の様子について共有する機会にて情報共有を行い、様子の把握をしている。	・今後も適応状況の確認に努めていく。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・家族支援についてはチラシを掲示し、気軽に相談をしていただけるように工夫している。	・移行支援や地域支援連携についての知識の習得や向上を行い、相談時に適切に対応を行う。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・週に1回、支援内容について職員間で検討し合っている。 ・きらりひろばや小集団の開催に向けたミーティングの機会を設けて検討している。	・入社して日の浅い職員も意見が言いやすい職場環境を整える工夫を行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・各職員が得意な強みやアイデアを出し合いながら教材を作成し、支援が固定化しないように努めている。事例検討会等からのアイデアを活用できるように検討している。	・入社して日の浅い職員も意見が言いやすい職場環境を整える工夫を行っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個別活動を主とし、集団生活に課題がある利用者に対して集団活動を行う行事への参加を促している。また、集団活動を想定した課題設定を行い、プログラムに反映している。	・集団活動を実施する曜日が固定化されがちであるため、参加する利用者も同じようなメンバーになりがちである。平等にサービス提供を行う工夫を行う。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝礼時にその日のスケジュールと利用者についての確認を行っている。	・今後も、情報共有や活動内容の確認を密に行い、全職員が把握していただけるよう行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・終礼時に引継事項や連絡事項を伝達している。共有すべきことは記録にも残している。	・連絡事項が多い日には終礼時間が延びてしまう日もあるため、記録に残して次の日に再度確認する方法を行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・支援記録には、支援内容の他に利用者の様子や状況を記入し、会議時に共有を行っている。	・今後も、個別支援計画に沿った支援記録を大切に行い、今後の支援に役立てていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・利用者や保護者と話し合って見直しを行っている。	・モニタリングのタイミングと計画更新月の把握をし、協力しながら進めていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・可能な場合は複数人で出席し、より子どもの状況を把握、周知できるようにしている。	・開催時間によっては児発管のみの出席となっているため、指導員も出席が行える工夫を行っていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・特に行政の保健師とは繋がりが強くあり、情報共有の機会もあるため、連携が図れている。	・きらり以外での活動の様子を見学する機会が持てないため、会議時に様子を何う程度になっている。他事業所等への見学や訪問の機会があるとよい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・支援者会議やモニタリング時に情報共有している。	・支援者会議に出席し、関係機関と情報共有をしている。支援者会議が定期的開催されないケースの場合は、支援者会議開催の提案や企画を行うようにしている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	・支援者会議に出席し、関係機関と情報を共有している。	・卒業をし、次のライフステージに変わると会議に呼ばれなくなってしまうこともある。繋がりのある支援のためには積極的に関わっていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		センターのみ回答のため、非該当
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		センターのみ回答のため、非該当
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	0	0		センターのみ回答のため、非該当
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	・定期的に児童発達支援センター主催の研修会に参加している。	・今後も児童発達支援センター主催の研修会に参加していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・保育園や認定こども園に出向き、利用者さんの様子を観察し、支援に繋がればよい。園の先生との意見交換など出来ればよい。	・個別支援の事業所であるため、保護者からの望む声も少ない。慎重に進め、他事業所と連携を図りながら取り組んでいく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・毎回支援後にその日の様子を伝え、保護者からも家庭での様子を伺っている。また家族支援を適時行い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持つようになっている。	・今後も情報共有を行い、お子さんの支援について、発達の様子を共有し、共に発達をサポートしていく。また、相談事がある時には速やかに対応する。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・チラシを掲示している。希望があった場合、家族支援にて支援を行っている。研修会や勉強会へ積極的に参加し、学んでいる。	・家族支援の知識の習得は継続していく。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・見学時や契約時に説明を行っている。	・児発管だけではなく、指導員も基本的な知識として身につけられるように、伝達共有していく。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・毎回支援後にこどもや保護者の意向を確認し、変更がある場合には情報共有を行っている。また家族支援時にも意向の確認を取り入れている。	・今後も継続して保護者様に満足いただけるように丁寧に対応していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・計画書を提示しながら、内容を説明し、同意をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・家族相談にて家庭の様子を伺い、助言や支援への反映等をしている。	・家族支援の知識の習得は継続していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・きらひひろばや小集団時には積極的に見学にお誘いし、保護者同士が会話できる雰囲気を作っている。希望がある場合は、保護者同士の連携がとれるように相談の場を設けるようにしている。配置数の関係により、きょうだい同士で支援を実施することが困難ではあるが、希望がある場合は調整を行うようにしている。	・個別に相談に応じると、同じような悩みを抱えている保護者がいることに気が付く。交流の場になるイベントの開催を検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・契約時に説明を行っている。苦情があった場合には迅速かつ丁寧な対応を行っている。	・包み隠さずに、誠実な対応を行う。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・会報、ブログ、SNS等で情報を発信している。	・幅広く認知していただくために、再度情報発信の伝達方法を検討する。見学時や契約時に提示ができるように準備をしていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・契約時にSNSへの写真のアップについて細かく聞き取りをし、取扱いに留意している。同意書に写真の取扱いについて聞き取りをした内容をメモに残し、全体周知を行っている。	・写真をアップする際には、ダブルチェックを行い、適切な対応とれているか確認し、慎重に実施する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・タブレットの活用や、LINEや広報誌にて視覚的な発信を行っている。	・個々の特性に応じた柔軟な対応が求められる。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・近隣の学校のボランティア部より、折り紙作品を受け取っている。	・地域住民を巻き込んだ行事の開催がないため、共生社会にも着目した事業運営を検討する。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・マニュアルの策定と共に、月に1回防災訓練を実施している。ロールプレイングも実施し、実際の動きの確認も行っている。	・常に意識を高めて業務にあたることが求められる。今後も防災訓練時以外にも気付きがある場合には、協議の上、対応の見直しを行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・マニュアルの策定と共に、月に1回防災訓練を実施している。ロールプレイングも実施し、実際の動きの確認も行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・面談時と契約時には必ず確認をし、その他随時確認を行うようにしている。	・入社して日の浅い職員には、オリエンテーション時に伝達し、職員全員が意識をしてサービス提供を行う体制を整える。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・面談時と契約時にアレルギーの有無を確認している。食事の提供は行っていない。	・入社して日の浅い職員には、オリエンテーション時に伝達し、職員全員が意識をしてサービス提供を行う体制を整える。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・毎日安全点検、確認を行い、事故を未然に防げるように努めている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約時に確認と周知を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・朝礼時にヒヤリハットの意識が保てるように声をかけている。 ・早急に時間を設け、対応策について検討している。	・各々意識を高めてサービス提供が行えるように再度周知していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・研修予定日には職員全員が参加できるように予定の調整を行っている。 ・月に1回セルフチェックシートを用いたアンケートを実施し、振り返りの機会を設けている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・契約時に保護者へ説明を行い、個別支援計画書に記載している。	・研修等で知識を得て、必要時には適切な対応が行えるように備えておく。	